

FREE

発行人：源真典（株式会社 CRAS）／一木広治（株式会社ヘッドライン）

Team JAPAN BACK BREAKER

〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町 12-14 Lee ビルディング 4F TEL:086-250-8089

編集・制作 株式会社ヘッドライン

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-9-6 パルビゾン 3 403 号

あれから2年…

JAPAN MOVE UP↑

from OKAYAMA

読んで、元気に!!

vol.1 創刊号

MAR - APR 2013

岡山が、 動き出す。

SPECIAL INTERVIEW

工藤公康

君の能力は君が思うより、はるか上にある！

SPECIAL INTERVIEW

ERIE E-girls DREAM

笑顔になれるような作品を作っていきたい

TOKYO
HEADLINE
Free news
is
good news
Since 2002

日本を元気に！

東日本大震災から丸 2 年 岡山に住む私たちができること

2011 年 3 月 11 日、東北地方を襲った東日本大震災。地震と津波で多くの犠牲者を出したばかりではなく、福島原発が被災地をいまだ苦しめている。家や家族、友人を失い絶望から立ち直れない人、住むところを追われ生活に不安を抱え生きる人、そして原発に怯え復興への道が見えなくなっている人、あの震災は 2 年経った今でも終わっていない。



岡山から東北を元気に！

岡山から遠く離れた東北で起こった東日本大震災。しかし、日本という小さな国で起きたこの悲劇は決して他人事ではない。日本全国からは、ボランティアが駆けつけ、義援金や物資が送られた。また広域避難者を受け入れ、住宅を提供するなど、被災地や被災者に多くの手が差し伸べられている。もちろん岡山も震災発生当初から、たくさんの支援を送り続けてきた。まだまだ復興と呼ぶにはほど遠い状態の東北に思いを寄せ、これからも支援を続けていきながら、気持ちの面でも寄り添えていけたら…。

「JAPAN MOVE UP from OKAYAMA—岡山から日本を元気に！」を「TOHOKU MOVE UP from OKAYAMA—岡山から東北を元気に！」に変えて、私たちに何ができるかを考えて、継続的に被災地・被災者を応援していこう！



日本を元気に！

元プロ野球選手

工藤公康



一木広治

株式会社ヘッドライン 社長

高校卒業後、西武ライオンズに入団し、プロ野球選手として活躍。福岡ダイエーホークス、読売ジャイアンツ、横浜ベイスターズで 29 年にわたり現役を続け 2011 年、引退。最年長投手として球界を引っ張ってきた工藤が子どもたちに伝えたい思いとは。

(聞き手・一木広治)



工藤公康（くどう・きみやす）

1963 年、愛知県生まれ。名古屋電気高校（現・愛工大名電高校）卒業後、82 年、ドラフト 6 位指名で西武ライオンズに入団。黄金時代の左のエースとして活躍。その後、福岡ダイエーホークス、読売ジャイアンツ、横浜ベイスターズに在籍。2011 年、復帰した西武ライオンズにて現役生活に終止符を打つ。実働 29 年間のキャリアで、シーズン MVP2 回、最優秀防御率 4 回、最高勝率 4 回、最多奪三振 2 回、ベストナイン 3 回、ゴールデングラブ賞 3 回、正力松太郎賞 1 回、日本シリーズ MVP2 回など数々の輝かしい活躍をおさめた。現在は野球解説者・野球評論家として精力的に活動している。

やらされても成長しない。やったものだけが成果を残せる。

あきらめなければ夢は必ずかなう

―「被災地もそうですが、工藤さんは“47（ヨナナ）ベースキャラバン”など、全国の子どもたちに野球を教えに行っていますが…」

工「野球って日本の文化であってほしいスポーツなんです。当然、勝ち負けもありますが、それ以上に仲間と一緒に野球をやる、そこに友達関係が生まれることで、子どもたちの社会がそこにできると思うんですね。その中で思いやりとか、頑張ろうっていう気持ち育てばいい。辛いこともスポーツをやることで乗り越えられるとか、身につくことはいっぱいあるので、野球をやる子がもっと増えてくれればいいという思いがあります」

―「子どもたちに言葉をかけるとしたら？」

工「自分の限界を作るなって言いたい。僕は超ポジティブな人間だから（笑）、あんまりネガティブに物事を考えないんだけど、子どもたちの能力ってね、本人たちが思っているよりはるか上にあるんです。それを伸ばすのは、やらされるんじゃないくて、自分でやることです。やらされた3年より、自分でやる3カ月のほうが成果がある。やらされていると、人の成長は妨げられるし、結局辞めた時に後悔だらけの人生になる。そんな後悔を今の子どもたちにしてほしくないから、僕の持っている知識とかすべてをみんなに伝えた

いって気持ちがあるんです。それを理解して取り入れてもらって、子どもたちが怪我をしないで、ずっと夢を持って野球をやってくれたら、うれしいです。人間には限界がない。努力したことは、すぐに成果として現れなくても、必ず報われる。でもやらない限りは良くならない。やったものだけが成果を残せるんです。そう思ってトレーニングを続けていったら野球も長くできると思うし、違うところでも必ず自分を助けてくれます。“あきらめなければ夢はかなう”。この言葉を僕自身ずっと信じているし、子どもたちに伝えていきたいことです」



一木広治（いちき・こうじ）

1964年3月11日生。株式会社ヘッドライン代表取締役社長。首都圏35万部発行のフリーペーパー「TOKYO HEADLINE」を発行するメディア会社「株式会社ヘッドライン」の代表取締役社長を務める傍ら、政財界からスポーツ界、芸能界にまで至る人脈を活かし、『日本を元気に』をモットーにさまざまな活動を精力的に行う。Tokyo Move Up、Japan Move Up from Okayamaの仕掛け人。現在は東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会事業・広報アドバイザーとして東京オリンピック招致に全力を尽くしている。



君の能力は君が思うより、
はるかに上にある！

選手生命が終わっても子どもたちに伝えなかった

一木（以下、一）「工藤さんは震災直後から被災地へ行って野球教室とかやっていますが、どんな思いを持っているんでしょうか」

工藤（以下、工）「まず、自分にできることは何なのか。そして被災地の状況を知るには、実際に行ってみないと分からないと思い行きました。被災地の方が何で困っていて、現状どうなっているのか。一番最初に行った時は野球教室という形だったんですが、子たちも元気がなかったし、親も不安を抱えている様子でした。実際、

町もがれきの山で、それがヘドロ化して臭いもひどくて。こんなところで子どもたちが生活しているんだって思うと、接し方も自然と変わっていきました。その時は肘の状態が悪く、ここで投げたら選手生命は、終わりになってしまう感じだったんだけど、この子どもたちに投げてあげようって思いました。何かね、自分が現役を続けるより、彼らに野球というスポーツをやってもらふことのほうが大切だと思ったんですよね。自分が壊れたとしても、彼らに夢を与えて

あげることのほうがずっと大切だって。そこで痛いながらに投げて、最終的には肘のケガが治らず現役をやめたんですけど、そこに全然悔いはないですね。自分が1年長くやるより、この子たちに夢を持ってもらって、この状況の中でも野球を続けていますって、プロ目指していますってやってもらったほうが、伝わることってあると思ったんですよね。夢は誰かがつないでいくものなんだと思いましたし、僕の夢をつないでほしいと思いました」

KIMIYASU KUDO'S

POSITIVE ITEM

いつも前向きな工藤の気持ちがアガるとっておきのポジティブアイテムを紹介

Positive Book

共感できる本

【野村の「人生ノート」夢をつかむ特別講義】

【弱者の兵法野村流必勝の人材育成論・組織論】

【野村再生工場 ― 叱り方、褒め方、教え方】

野村さんの本は出たら必ず読んでいます。野村さんとは、貧乏だったとか生い立ちも似ている部分もあって…。そんな物がない中で、どうやってやるかって自分で工夫し、考えながらやる場所も同じだし、すごく共感できる部分がたくさんあります。



野村の「人生ノート」夢をつかむ特別講義 1575 円 日本文芸社
弱者の兵法野村流必勝の人材育成論・組織論 1500 円 アスペクト
野村再生工場―叱り方、褒め方、教え方 740 円 角川書店

Positive Music

思い出の曲



【GReeeeN「Pride」】

GReeeeN の「Pride」という曲です。去年担当させていただいた夏の熱闘甲子園の主題歌だったんですが、もう大好きになっちゃって(笑)。今でもたまに聞きますよ。

Positive Movie

正義は必ず勝つ！

アクション系で、最後に必ず正義が勝つすっきりした映画が好きです(笑)。アベンジャーズとかね。あと、ドラゴンボールも好き(笑)。ドラゴンボールは映画からなにか全部持っていますので、いつでも見られるんです(笑)。あとは…一番最近見た「トワイライト」という吸血鬼の映画も面白かったな。

47 BASE CARAVAN とは



48 歳まで現役で野球を続けた工藤氏の実績をもとに「野球を長く楽しく続ける」「野球を通じて、子供達に夢や希望を持ってもらう」ことをコンセプトに、工藤氏の背番号だった「47」と、47 都道府県を掛け合わせ命名。日本中をキャラバンしながら子供達向けの野球教室を開催するなど様々な活動を実施するプロジェクト。



Be POSITIVE

Culture/Item/Entertainment and more

人に元気を与える人になるには、自分自身が元気でハッピーじゃなきゃ。ムカつくこと、悲しいこと、情けないこと、失敗すること、心が痛くなる出来事…。毎日毎日嫌なことはあるけど、ほんの少し見方を変えて見ることで、気持ちは前向きに立て直せるはず。そんな時、そっと背中を押してくれるさまざまモノ。友達、家族、ペットなど心許せるモノをはじめ、楽しい映画、ノリノリの音楽、感動的な本など、心に響くものを誰でもひとつ持っている。また、それだけではなく、髪形を変えたり、旅行に行ったり、美味しいものを食べたり、やってみたかった習い事に挑戦したり、自分を変えてみることで、人生が楽しくなる方法もたくさんあるはず。そんなポジティブになれる最強のカルチャーやアイテムやエンターテインメントなどをご紹介します。あなたの気持ちがハッピーになるようなモノに出会えますように。

POSITIVE LIVE

あの日が再び…！

『風とロック LIVE 福島 CARAVAN 日本（箭内道彦）』

5月6日、「ザ・猪苗代湖ズ」箭内道彦が実行委員長を務める「風とロック LIVE 福島 CARAVAN 日本」が広島にもやってくる。広島アステールプラザ大ホールで開催決定。



2011年に行われた「LIVE 福島 風とロック SUPER 野馬追」の全国版。是枝裕和 総合監修のドキュメンタリー映画「あの日 ～福島は生きている～」も上映される。

ここでの全収益は、福島に自然エネルギーによる野外音楽堂をつくるプロジェクト「東北ライブハウス大作戦 with LIVE 福島」に寄付される。出演アーティストなどの詳細は公式サイトで。

Coming soon!

風とロック LIVE 福島 CARAVAN 日本 ウェブサイト【URL】<http://kazetorockcaravan.jp/>
風とロック LIVE 福島 CARAVAN 日本
【日時】2013年5月6日（月・祝）【場所】広島アステールプラザ大ホール

POSITIVE ITEM

有名アーティストのデザインをその手に



『softbank selection』

泉谷しげるや浦沢直樹らが手がけた iPhone 5 専用デザインケース「heart of Artist」が現在発売中。全国の取扱店と公式サイトで購入できる。また、公式サイトではアーティストの復興へのメッセージを掲載。この収益の一部は東北の高校生を対象にした「まなべる基金」に寄付される。

softbank SELECTION 「heart of Artist」
【URL】<http://www.softbankselection.jp/onlineshop/campaign/heartofartist/>

POSITIVE WEB SITE

赤ちゃんが微笑むと、こっちも微笑む。

『ハッピーバースデー 3.11』

日本ユニセフ協会の震災支援活動の一環として、2011年3月11日に被災地で生まれた赤ちゃんのポートレートを掲載しているサイト。

凄惨な場面ばかり目の当たりにしてきた中、生きる希望を灯してくれた新しい生命。彼らの愛らしい姿が、きっとみんなを笑顔にしてくれるはず。

これらの写真をまとめた本「ハッピーバースデー 3.11 あの日、被災地で生まれた子どもたちと家族の物語」も現在発売中。また、公式サイトでは、心温まるメッセージとともに、フォトムービーが見られる。



【URL】<http://happybirthday311.jp/>

POSITIVE FOOD

おいしいカニを食べて復興支援

『かに物語』通販サイト

宮城県気仙沼市の復興屋台村にある『かに物語』が通販サイトをオープンした。同サイトでは、日本では珍しい「Deep Sea Red Crab（オオエンコウガニ、マルズワイガニ）」を販売している。

Deep Sea Red Crab は地中海、主にスペインとボストンなどでは高級食材とされており、栄養価も高く人気のカニ。比較的浅瀬に生息する一般的なカニより、身入りがよく、甘味が強いのが特徴。味は毛ガニに近く、身は繊維離れがよく弾力的なので味、食べごたえともに大満足。加熱した料理に使ってもカニの味がしっかり残るので、さまざまなメニューにアレンジ可能だ。

震災で気仙沼の工場がすべて被災し、残った船と中国の工場から、この幻の蟹「Deep Sea Red Crab」を日本全国に届けたい！ そんな『かに物語』の味をぜひご家庭で！



【URL】<http://kanimonogatari.jp>

POSITIVE ANIMAL

被災地ペットを救おう！

『ちゃんた&ゆかいな仲間たち〜わんにゃん組〜岡山より犬猫のご縁結び』
人間と共存し、癒し癒され暮らしてきたペット。そんな家族の一員を、ある日突然置き去りにして町を出なければならなくなったら…。

ペットたちもそう。いつもご飯をくれていた人、優しく頭をなでてくれた人ばかりか、町中から人がいなくなったら…。被災地ではそんな経験をした飼い主とペットが、ともに耐えられない苦痛と不安にさらされているという。

そんな被災地に取り残されたペットを保護し、里親を探そうと全国各地でボランティアが立ち上がり、被災地ペットは全国で保護、譲渡されている。岡山の「わんにゃん組」も、県内のペットの保護、譲渡をしながら被災地ペットも受け入れている団体のひとつ。

代表の山本仁美さんは語る。「震災に思いを巡らせた時、動物のボランティアなら私にもできるのではないかと思います“東北犬猫レスキュー”（こちらのサイトは既に活動を終了）に登録したことがきっかけで、被災地の子の里親探しをしようと思いました。これまで被災っ子は2011年6月に第一陣、2012年3月までに計4回で27匹を被災地より迎え、そのうち26匹が幸せをつかんで新しい家族のもとへ引き取られました。岡山で保護した子に比べると環境変化に弱く、譲渡後はしばらく安定剂的なサプリが必要な子がいます。また原因不明の抜け毛も多いですね。突然飼い主がいなくなったり、人がいなくなったりした土地で頑張ってきたことで精神的に不安定になっているのかもしれません。しかし、里親さんから愛情を注いでもらおうと、どちらも治ります。里親さんが決まり、もらわれて行く時もうれしいですが、幸せそうにしている写真やお便りをいただくのが一番うれしいですね。ペットだけではなく、里親さんも幸せになってくれているのが伝わります。また、日程等は未定ですが、3月中旬にも被災っ子の受け入れを準備しています。大きい子は、小さい子よりはもらわれにくいのですが、平和な岡山で一匹でも幸せになり、今も救いを待っている命に暖かく優しい手が届けばと願っています」。

ペットを家族の一員に迎え入れようと考えているなら、この子たちのことを思い出してほしい。ペットが幸せに生きていると思うことで、生きる希望になる人もいるのだから。そして、過酷な状況に耐えてきたペットを幸せにすることで、きっと自分たちも幸せになれるはず。



ちゃんた&ゆかいな仲間たち〜わんにゃん組〜岡山より犬猫のご縁結び
【URL】<http://chanta39.blog134.fc2.com/>



福島県双葉郡浪江町で保護された猫

POSITIVE CD

桑田佳祐、待望の新曲はパワフルなトリプルA面

『Yin Yang（イヤン）/涙をぶっとばせ!!/おいしい秘密』

3月13日に、桑田佳祐待望の新曲であるトリプルA面シングル『Yin Yang（イヤン）/涙をぶっとばせ!!/おいしい秘密』が発売される。特典として、同日発売のDVD『桑田佳祐 LIVE TOUR & DOCUMENT FILM「I LOVE YOU -now & forever-」』と同時購入すると、「こいの桑田御守」がもらえる。

『Yin Yang（イヤン）』は、ドラマ『最高の離婚』の主題歌。桑田自身もエンディング映像に出演することが決定。出演キャストの瑛太・尾野真千子らとどのような絡みをするのか楽しみだ。ドコモのキャンペーンソングでもある『涙をぶっとばせ!!』はエネルギーで前向きな曲になっている。そして、『おいしい秘密』はサッポロのノンアルコール飲料のキャンペーンソング。幅広い層から支持を集めている桑田にしかできない強力ラインアップだ。

震災以後、桑田はチーム・アミューズを率いて、復興支援ソング『Let's try again』をリリース、自身のガン復帰後、初のツアー開催地を仙台にするなど、被災地に向けた活動を精力的にしている。



『Yin Yang（イヤン）/涙をぶっとばせ!!/おいしい秘密』
【価格】1260円（税込）初回プレス分にはブックケースと“そうだったのか！けいちゃん格言ステッカー”封入【初回生産限定盤価格】2000円（税込）

POSITIVE BOOK

ミスターホークス、渾身の自叙伝

『一瞬に生きる』

ミスターホークスこと小久保裕紀の自叙伝『一瞬に生きる』には、前向きになれる言葉がたくさん散りばめられている。自身でも波瀾万丈の人生だったと語るように、失敗や挫折、苦悩までもさらけ出し、その時どう考えたか、そこから1歩進むためにどうすればいいのか、小久保なりの考え方、解決方法をあますところなく披露。人生の道しるべになってくれる一冊。



【著者】小久保裕紀
【定価】1500円（税別）
【発行】小学館

POSITIV PROGRAM

震災を忘れないために

被災地を笑顔でつなぐプロジェクト『笑顔311』

被災地の最新情報やボランティア情報をインターネット生中継で発信する『笑顔311』。「Thank you！TEACHER」のページでも登場してくれた大矢中子さんが代表を務める同プロジェクトで配信された情報は、仙台の大学生が発信する『IF I AM』で92回、東京から発信する『+ Starters』で40回を数える（2月28日現在）。被災地の情

報を流し続けることで、震災のことを風化させず、長期的な復興支援を手助けしていくという。被災地から発信される生の情報を見ることが出来る。そこから自分にできることが見えてくるかも。

【URL】<http://egao311.info/>



写真：浜野 浩行



Erie

E-girls Dream

聞いてくれる人が笑顔になれるような作品を作っていきたい

男性のみならず女性からも絶大な人気を誇るガールズ・エンターテインメント・プロジェクト E-girls のメンバーで Dream の一員としても活躍中の Erie。14 歳まで過ごした岡山の思い出と、パフォーマーとしてのこれからの夢を語る。

岡山から東京へ。きっかけはオーディション

「岡山には 14 歳の中学 2 年生まで住んでいました。岡山市内で、ハッピータウンとかにも近いところですよ。ってハッピータウンとか分かるかな(笑)。中学生のころは学校に行きながら部活に明け暮れた毎日を過ごしていました。テニス部だったんですけど、毎日はりきって(笑)。そのころダンスは、お母さんに無理やりやらされていて、いやいや通っていましたね。お母さんは社交ダンスの先生をやっているんで、すごくダンス好きでしたが、私はそこまでのめり込んでいませんでした。岡山にいるころは、旭川によく遊びに行っていました。犬が大好きなんですけど、旭川に行くと犬の散歩をしている人がいっぱいいるので、犬を見に(笑)。今でも岡山に帰るとよく行く場所ですね。両親はもう岡山に住んでいませんが、兄や友達がいるので、お正月などで帰るのは岡山です。今年もお正月に帰って、友達と最上稲荷に初詣に行きました。東京にも友達はたくさんいますが、昔の自分を知っているっていう友達は地元にはいないので、すごく気が楽というか、昔に戻ったような気分になりますね。仕事の話は一切なし。昔のまんまの私でいられる場所を作ってくれています。東京に出てきたのは 14 歳の時に受けたオーディションに合格したから。といっても、友達がもともと芸能界に憧れていて、オーディション雑誌を見て、一緒に受けようって言われて受けたら私だけ受かってしまったというパターンです(笑)。私自身、まったく興味がないどころか、人前に出るのが嫌いだったので、全然その気はなかったんですけど、なんか気づいたらあれ?って。うん、気づいたらここにいたっていう感覚です。その時一緒にオーディションを受けた友達とはまだ、すごく仲良しです」

E-girls・Dream Erie

EXILE の D.N.A を受け継ぐ、本格的なダンスパフォーマンスを展開するガールズ・エンターテインメント・プロジェクト E-girls のメンバー。E-girls は Dream、Happiness、Flower などのユニットを構成しており、Dream に所属。また、ユニットの枠を超え、楽曲コンセプト、世界観に合わせて、そのつど E-girls の中から最高のパフォーマンスを発揮できるメンバーでベストフォーメーションを組むことも。2011 年 12 月 1st Single 「Celebration!」で華々しくデビュー。2012 年 10 月にリリースした 3rd Single 「Follow Me」はオリコンウィークリーチャート 2 位のスマッシュヒットを記録。5th Single 「CANDY SMILE」が 3 月 13 日にリリース。

地震が起きたとき、すぐに思ったのがメンバーのこと

「3月11日の震災の日はたまたま1人で家にいました。岡山って地震がほとんどないし、気候も温暖ですごく住みやすいところなので、あの時は本当にびっくりしました。結構揺れましたし、外を見ると電柱とかもグラグラしている…。そしてニュースを見たらすごいことになっていて、本当に怖かったです。そんな状況でしたけど、とっさに思ったのがメンバーのこと。メンバーは大丈夫かって、心配になったのを覚えています。それから、一度E-girlsで福島のショッピングモールでライブをしたんです。目の前に映る風景は想像を超えるものでしたけど、来てくれたお客さんがみなさん笑顔で迎えてくれて…。そのあともライブのことをブログのコメントに入れて下さる方もたくさんいて、すごくうれしかったですね。コメントには“福島に来てくれて本当にありがとうございました”っていう言葉が多く書かれていて、逆に自分たちがすごくパワーをもらえました。以前からブログのコメントで“いつか福島にライブに来て下さい”っていうのをいただいていたので、ひとつ実行できて、それも心から良くなったって思っています。そのライブをやったこととブログのコメントを読んで、もっと何か

できないか、もっともっと私にできることがあればやっていきたいと思いました。すごく大変なことだったし、今でも大変な思いをされている方がいっぱいいると思うんですけど、そういう時こそ、一人ひとりが手を取り合っていくことが大切だと思います。そしてきっとまたもとの元気な笑顔があふれると思う。私たちも些細なことですけど、ライブだったり、ブログだったり、ほかになんでもいいんですけど、見てくれる人、聞いてくれる人が笑顔になれるように思いを込めて作品を作っていきたいと思います。一緒に前を向いて頑張っていく気持ちで日々活動していけたらいいな」



この職業ってすごいな！

「ライブでも感じたことなんですけど、私たちのパフォーマンスを届けることで、人に元気を与えたり、ありがとうって言ってもらえたりするのって、すごいことだなって思うんです。私たちの仕事って、普段はレッスンに行ったり、歌の練習したりっていう毎日で、そういう積み重ねを実際、パフォーマンスとして見ていただくっていうものなんです。それが見ていただいた方に届いて、その人たちが笑顔になってくれるっていうことが、私たちの喜びであり、使命なんじゃないかって最近思うようになりました。普段やっていることが身になって、誰かに思いを伝えられるっ

て、改めて自分の職業ってすごいなって思っています。私はDreamとして11年やっているんですけど、メンバーは家族のような存在ですし、喋らなくても何を考えているのか大体分かります。そう思うと、Dreamの一員になれて良かったと思うし、オーディションを受けようって言うってくれた岡山の友達には感謝ですね。こんな素敵な仕事を大好きなメンバーとできているんですから、本当に幸せです。もしDreamじゃなかったら、多分岡山から出ないで、今ごろは結婚して子どもいるんだろうな(笑)。それも素敵ですけどね」

落ち込んでいる時間がもったいない

「私は基本的にすごくポジティブなんです。落ち込むことももちろんありますが、落ち込んでもしょうがない。明日もし何かあったらどうしようって思うと、一日一日がすごく大事だなって思うんです。落ち込んでも切り替えて明るくしていかないと時間がもったいないって思うタイプなので、自分の中でコントロールして切り替えられますね。あとブログのコメントとか見て勇気をもらったり。こ

の前たまたま岡山に帰った時に行った焼き肉屋さんがファンの方のお店で、一緒に写真撮って下さいって言われてすごくうれしかったんですけど、そのあとブログにもありがとうございましたってコメントくれて、感激しましたね。ブログのコメントには、同じ岡山のファンの方が出身地を書ってくれるので、親近感もわくし、とてもうれしいです。まだ岡山では単独ライブをしたことがないので、

ぜひ岡山単独ライブを実現させたいです。これはひとつの夢として、いつか絶対かなえたい。あとは今、中学校とか高校でダンスが必須科目になっているので、岡山のみんなと踊ってみたい。E-girlsとしてもDreamとしてもダンスは不可欠なので、スタジオでダンスと一緒に楽しめたらなって思います。岡山の人はすごく優しいので、きっと温かく迎え入れてくれるんじゃないかな」

Erie's POSITIVE ITEM

MOVIE

これ言って大丈夫かな(笑)。実はゾンビがすごい好きなんです。ゾンビって2パターンあって、走るゾンビと歩くゾンビがいるんですよ。なんかそういうのを見るとドキドキするんです。普段ジムに行って心拍数上げるトレーニングをしているんですけど、それと同じような感じ。心拍数が上がってポジティブになります(笑)。

BOOK

事務所の社長の HIRO さんの本です。「B ボーイサラリーマン」っていう本なんですけど、HIRO さんの今までの人生がつまっています…。たくさん苦労して、たくさん努力されているんだなって思って。パワーをもらえます。

MUSIC

マイケル・ジャクソンの「ジャム」っていう曲があるんですけど、その曲を聞くといつもテンションが上がります。ライブ DVD に入っている曲なんですけど、ジャムっていうのは集中しろっていう意味で、すごく上がるんです。ほかのことを考えずにのめり込める。だからライブ前はいつも聞いています。

COMIC

ワンピースが大好きです。ワンピースは友情とか仲間がテーマなので、Dream という大切な仲間を持っている私にとって、すごく共感できるところがいっぱいあるんです。解散の危機じゃないですけど、11 年の間にはいろいろありましたけど、みんな Dream が大好きで Dream で売りたいっていう気持ちがあって乗り越えてきました。だからワンピースを読むと改めて絆っていいなって思いますね。



ウォーキング・デッド』シーズン3
第1～8話…FOXにて2月26日(火)から放送
第9話以降…FOXにて3月23日(土)から日本初放送
【FOX チャンネル 公式サイト】<http://tv.foxjapan.com>
【DVD】シーズン1 & 2 DVD & ブルーレイボックスセル・レンタル中
【DVD 公式サイト】<http://www.kadokawa-d.jp/lineup/walkingdead/>
©Photo Credit Gene PageAMC



E-girls 5th Single 「CANDY SMILE」
2013 年 3 月 13 日 On Sale!



E-girls 5th Single 「CANDY SMILE」
2013 年 3 月 13 日 On Sale!

E-girls 5 枚目のニューシングル「CANDY SMILE」が3月13日に発売。この曲は UHA 味覚糖「e-ma のど飴」の新 TV-CM ソングとなっている。また、4月17日には待望のファーストアルバム「Lesson 1」が発売決定！毎作、新しい魅力を展開する E-girls に、今後もぜひ期待したい。

【CD + DVD】品番:RZCD-59336/B 価格:1890 円(税込)
< CD 収録曲 >
1. CANDY SMILE 2.love letter 3.CANDY SMILE (Instrumental)
< DVD 収録曲 >
1.CANDY SMILE (Video Clip) 2.CANDY SMILE (Making Clip)
【CD のみ】品番:RZCD-59337 価格:1050 円(税込)
< CD 収録曲 >
1.CANDY SMILE 2.love letter 3.CANDY SMILE (Instrumental)
4.love letter (Instrumental)



POSITIVE | 金言 | 俺は酒をかけられようが、唾はかれようが、たいていの事は許してやる。だがな…友達を傷つけるやつは絶対に許さない。「ワンピース」より



全国をつなぐメディアだからできること

震災直後から被災地に入り、メディアを使って情報を発信してきた「笑顔 311」プロジェクト代表の大矢さん。震災から2年が経過した今、プロジェクトが向かう先は。また、プロジェクトをこの先継続させていくためにやるべきこと、今後取り組みたいことを語る。

被災地の情報をメディアで発信

「震災後、私たちは被災地に入って、その現状をメディアを使って発信すべく、『笑顔 311』とい



撮影：宮上晃一

特定非営利活動法人メディアージ代表 笑顔 311 プロジェクト 大矢中子

笑顔 311 は、被災地をメディアでつなぐプロジェクト。“被災地の今”を発信し、地域を巻き込むことで、長期的な募金や支援というアクションに結びつけることを目的とした。被災地やボランティア活動の最新情報をインターネットの中継番組や Web サイトで発信しているほか、被災地から地域の方々自身が情報発信できるように、ネット中継設備とノウハウの導入にも取り組む。

うプロジェクトを立ちあげました。そして、毎週木曜日には、東京から Ustream で『+ Starters』を、そして仙台からは大学生が同じく Ustream で『IF I AM』という番組を発信してきました。現在もその活動は続けているんですが、それ以外にもその技術を使って、全国から復興系のイベントを中継してほしいとい依頼をいただくようになり多い時で週に1～2回、平均月2～3回中継業をしています。そうやって少しずつ組織が大きくなってきたので、それを継続させるために、NPO 法人を作り現在は仕事としてお受けしています。実は福島原発による広域避難者は全国にいて、それぞれ大変な状況にもかかわらず、避難してしまったら行政のサービスが行き届かないとか、知らない土地に住むことでストレスを抱えているとか、さまざまな問題を抱えている場合が結構あるんです。そんな状況もあり、避難してきた人たちで作っているグループや団体をブロックごとに集めて、広域避難者のための支援ミーティングを全国で行っている『東日本大震災復興支援ネットワーク（通称：JCN）』という団体があり、そこからの依頼で私たちがその模様を配信させていただいています。メディアは全国をつなぎますから、そのミーティングに参加したいけどできないとか、報告書ではなく動画で見たいという人に向けてのものです。そういうご依頼などもあります」

被災地で情報発信の技術者を育てたい

「全国のミーティングやイベントの中継をしてくれているのも、この2年で育てたスタッフです。みんな仙台の普通の大学生ですし、技術的にはまだまだですが、すごく意識の高い子が育ったので、今後はその子たちをハブにして広げていきたいと思っています。これからどんどんスキルアップしてもらわなきゃプロとは言えないレベルですが、自分たちで発信する喜びは確実にもっている。モチベーションは非常に高いですね。ただ、今後は沿岸部にそういう人材を作りたいと思っています。仙台の子はボランティアとかサークルの活動として、自分の時間を無償で提供できますが、石巻は被災地なので自分の時間を提供することすら厳しい。だから、技術を覚えることを職業訓練として、ちゃんとお金がもらえるような仕組みを作っていないと難しいのかなって。石巻には被災沿岸部では唯一の大学である石巻専修大学があります。つまり大学生がいるんです。だから、仙台の大学生と同じようにとはいかなくても、興味を持ってくれる人はいると思いますし、大学生・中高生にワークショップなどで、そういうことを教えていければと考えています。石巻の人が町の情報を発信することが、これからの町作りや復興にはとても大事だと思うので、そういう人材を増やしていくことも今後の課題だと思っています」

ACROSS THE RAINBOW

あたり前と思っていたことが
すごく幸せなこと。

OKAYAMA

立花 典子（41 歳）職業：アミューズメント業 スタッフ

立花 典子（たちばな のりこ）

1971 年 5 月 3 日生まれ。岡山県岡山市出身。

アミューズメント業 スタッフ。

1

ボランティアを通して、得た教訓は

見返りとか期待を求めないこと。結果とか気にしないこと。自己満足でもいいから、自分のやっていることは誰かの役に立っていると信じて一生懸命やること。

2

死生観は変わったか？

帰る家がある、寝るお布団、お風呂がある、お腹が空けば食べられるし、喉が乾けば水が飲める。そんなことは当たり前だと思っていましたが、今はそれがすごく幸せなことだと思えるようになりました。また、3.11 をきっかけに自分が困難な状況下に居たとき、友達からもらった手紙の一節にあった「私たちが虚しく生きた今日は、昨日あれ程生きたいと望んで死んでいった者達の明日」という言葉を思い出しました。3.11 を機に、腐ったり、心が折れたりしても、この言葉を思い出し一日ずつもっと一生懸命に生きなければ！と思えるようになりました。

3

「絆」や「がんばろう」以外で復興を言い表すなら？

「大丈夫」。たくさんの絆が生まれたと思います。東北の人たちはあの日からもう十分すぎるほど、疲れ果ててしまうほどがんばっていると思います。今まで頑張り続けて、いっぱい絆が生まれたから復興（未来）は大丈夫！！

4

逆に勇気付けられたことは？

昼間は自宅に戻って町内の溝掃除で、精神的にも肉体的にも疲労困憊しているはずの被災地の方に「暑いから休憩していいよ」と笑顔で塩アメを渡されたあの瞬間は疲れも暑さもふっ飛びました。

5

ボランティアをやっていてよかったと思うことは？

やっている人にしか分からない喜びや、楽しさ、達成感を得られることと、同じ想いを持った仲間ができることです。



夢があるから頑張れる。今歩んでいるこの道はどこに続いているのか。生きる場所は違えど同じ志を持って夢に向かう気持ちは一緒。同じ職業のプロフェッショナルを目指す“頑張る人”をピックアップ！

何に生きて何に死ぬか
それをよく考えます。

TOKYO

土屋季之（つちや としゆき）
1972年8月12日生まれ。長野県東御市出身。
フリーライター。



除染ボランティアのメンバーと南相馬市の視察にて撮影

土屋季之（40歳）職業：フリーライター

- 1** 3.11という出来事を風化させないためには？
繰り返しさまざまな形で語り継ぐことではないでしょうか。
- 2** 死生観は変わったか？
変わったかもしれません。生きることは死ぬことだとずっと思っていたますが、この先、何に生きて何に死ぬのか、それをよく考えます。
- 3** 「絆」や「がんばろう」以外で復興を言い表すなら？
「たたかい」。福島で特にそう思います。
- 4** 被災地に赴くときに、気をつけていることは？
人の話をよく聞くこと。自分にできることをちゃんと伝えること。そして今はまた別の形でアプローチしなくてはとも思っています。感覚論で恐縮ですが。
- 5** こうしてメディアが取り上げることにについて、思うことは？
良いことも悪いことも、どんどん取り上げてほしいと思います。なぜ「復興」にとってネガティブなものは報道されないのか？それもひっくるめて復興に向かうべきなのに、物事の良い面だけを見て復興へと向かっている姿を描くだけでよいのかな？ということだと思います。
- 6** 逆に勇気付けられたことは？
被災した皆さんの“まっすぐさ”
- 7** ボランティアをやっていてよかったと思うことは？
いつも考えていられること。
- 8** 被災地で食べたおいしいモノを教えてください。
取材でしばらく満足に食べられなかったときに、被災した方がわずかな食料の中から作って食べさせてくれた炊き込みご飯。申し訳なくて、おいしくて涙が出ました。